

小学生

約240人が考える



「こどもまんなかスイッチ」の広げ方

北九州市では、今年11月、こどもや子育て中の方、その周囲の方が、お互い包摂性と寛容性を持つとともに、市民一人ひとりがこどもに関わり、育てるという機運を高めていくための合言葉を5つのアクションにして、「北九州市こどもまんなかスイッチ！」と決めました。

このたび、「北九州市こどもまんなかスイッチ！」を広く市内に浸透させるためのアイデアについて、「みらい政策委員会」となった「北九州市立ひびきの小学校5年生児童（約240人）」が考えます。

つきましては、市民の皆様にごこの取組を広く知っていただくため、ぜひ取材方よろしくお願いたします。

記

- 1 実施日時 令和6年12月19日（木）10時40分～11時25分
- 2 実施場所 北九州市立ひびきの小学校 体育館
（北九州市若松区ひびきの北8番26号）
- 3 参加者 北九州市立ひびきの小学校 5年生児童（約240名）
- 4 取材内容 児童の検討・発表の様子、児童のインタビュー、市担当者の取材等
- 5 取材方法
 - ・取材いただける場合は、12月18日（水）16時までに下記問合せ先へご連絡ください。
 - ・当日は、10時30分までに「北九州市立ひびきの小学校体育館」に集合してください。
 - ・その他、取材にあたっては、係員の指示に従ってください。



【問合せ先】

子ども家庭局総務企画課
村上(課長)、島田(係長)
TEL:093-582-2280



こどもまんなか city の合言葉

北九州市こどもまんなかスイッチ！

自分がこどもだった頃、大人ってどんなふうに見えていただろう。
いろいろなことを教えてくれる大人がいた。
いつも声をかけてくれる大人もいた。ときには、叱られたこともあった。

今、大人になって、こどもたちにできることはなんだろう。
大きなことはできないけれど、やさしく見守ることならできるかも。
こどもの頃に、近くで寄り添ってくれた大人のように。

まずはこどもの周りに、にこにこ笑顔があふれていることが、
だれもが始められるスタートライン。

このアクションが、合言葉となって広がり、
こどもが地域の「まんなか」になるように。
こどもも大人も、笑顔が絶えない北九州市になるように。

みなさんも、こどもまんなかスイッチを入れてみませんか？

<アクション>

- 1 こどもがいたら、みんなで「**にこにこスイッチ**」オン！
- 2 こどもとは、ひざをかがめて「**同じ目線**」で
- 3 こどもに教え諭（さと）すときには「**愛情いちばん**」
- 4 子育ては時に大変なことも。やさしく伝える「**大丈夫**」
- 5 こどもの周りには、いつもたくさんの「**ありがとう**」を

「こどもまんなかスイッチ」を入れ、アクション！

【アクション1】

こどもがいたら、みんなで
「ここにこスイッチ」オン！

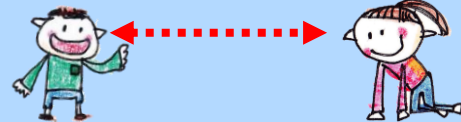


▶まず大人がこどもに笑顔向け、こどもを笑顔にし、地域で笑顔の輪を広げよう！



【アクション2】

こどもとは、
ひざをかがめて「同じ目線」で



▶こどもを社会をつくっていく仲間として尊重し、その考えを受けとめよう。こどもと目線を合わせる時は大人の方から行動しよう！

【アクション3】

こどもに教え諭（さと）すときには、
「愛情いちばん」



▶こどもに教え諭すなど、大切なことをきちんと伝えるのも大人の役割。その時、そこに愛情があるか、自身に問いかけよう！

【アクション4】

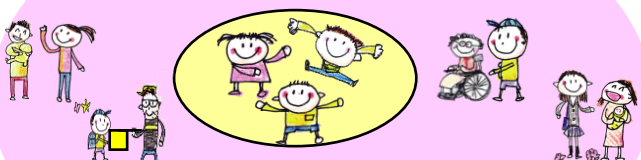
子育ては時に大変なことも。
やさしく伝える「大丈夫」



▶子育ては、楽しいことだけでなく、大変な時もある。そのような時に、優しく寄り添い「心配ありませんよ」と伝えよう！

【アクション5】

こどもの周りには、
いつもたくさんの「ありがとう」を



▶「ありがとう」は、大人でもこどもでも言われるとうれしいと感じる言葉。このような言葉が、こどもの周りで交わされる温かな地域がいいね！